

(個別療育センター ココスマイル本部 【放課後等デイサービス】) ご利用の皆様、令和3年度のご利用及び事業所評価にご協力いただきありがとうございました。多くのご回答をいただくことができました。皆様方からの評価をもとに現状の評価をし、改善策を立てました。より良い支援のため、職員一同今後一層の努力をしていきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。いつでも忌憚なくご意見をお寄せいただければ幸いです。

令和4年3月末日 (個別療育センター ココスマイル本部) 職員一同

アンケート回収率 職員100%、保護者88%

【基準】 達成 (80%~100%が「はい」と回答) ほぼ達成 (60%~79%) 未達成 (60%未満)

		(ココスマイル本部) 事業所評価 チェック項目	全体評価	保護者	保護者からいただいたご意見	改善策
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。(保護者評価項目1)	達成	達成	<ul style="list-style-type: none"> 子ども1人のための部屋としては十分広いです。 学習室も待合、運動の部屋もとても広くて活動しやすいと思う。 子ども1人に対して先生2人で対応していただけると良いかなと思います。 発達障害に関する本がたくさんあり、とても参考にあります。 子どもの人数、職員の数分からないので。 先生がお休みの時に療育も休みになってしまう。 1階のトイレが汚い。椅子が冷たい。 おもちゃなど消毒してくださっていていつも清潔だと思います。 いつも清潔にされています。 事業所はきれいですが、それぞれの子どもに合っているかは他のお子さんの様子を見たことがないのでわからない。 	<p>【環境・体制整備について】</p> <p>環境設定につきましては、高評価をいただき、ありがとうございます。快適な環境を維持するため、職員一同清潔に保つよう、日々の清掃や整頓に腐心しております。体制につきましては、ご不便をおかけし大変申し訳ありませんでした。現在職員の増員をしながら、体制強化を進めております。事業所の都合で療育ができない場合には、振替をらせていただいたり、別職員で対応させていただいたりしながら、ご利用者様の療育に支障が出ないよう、調整していく予定です。職員の専門性につきましては毎年度当初にお知らせしておりますが、周知に心掛けます。</p>
	2	職員の配置数は適切であるか。(保護者評価項目2)	達成	達成		
	3	事業所は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。障害特性に応じ、バリアフリー化の配慮や情報伝達等への配慮が適切になされているか。(保護者評価項目3)	達成	達成		
	4	事業所は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。子どもたちの活動に合わせた空間になっているか。(保護者評価項目4)	達成	達成		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	達成		<ul style="list-style-type: none"> 現在ほとんど満足しているが、毎年先生が変わり先生によって療育のレベルが違いすぎるのが不安。 先生方にはいつも話しかけていただき、いつも大満足で帰っています。 気分や課題の内容によって嫌がる時もありますが概ね楽しんでいます。 とても楽しみにしています。 支援して頂いている先生のことは信頼しています。これまで1年に1度のペースで先生が変わっていたことは、本人には理解し難いようでした。 	<p>【業務改善について】</p> <p>業務改善につきましては、経営の安定を図るためにも、ご利用者様からのご意見や職員間での話し合いをもとに、効率化を進めています。ご利用者様からの評価は全職員で共有し、改善策を話し合い、実践に移しています。また毎年度大阪府の決まりに基づき、ホームページに公表致しております。毎年度桃山学院教育大学永井利三郎先生による外部評価や、公益社団法人子どもの発達科学研究所との協議のもと、業務改善につなげております。</p> <p>職員の資質向上のための研修は定期的実施し、当法人LIBOこころの発達研究所黒田美保先生の研修をはじめ、公益社団法人子どもの発達科学研究所等からの最新の情報を学ぶ機会を持つようにしています。発達についての基礎知識、専門知識としてTEACCH自閉症プログラム、応用行動分析学、認知行動療法等を学び実践できるよう、研修を実施しています。再現性のある実践をしていくために、職員皆の基本ベースを整えていくことができるよう、今後も真摯に取り組んでいきます。</p> <p>保護者評価でも高評価をいただきありがとうございます。ご家庭、地域、当所での支援と、どこでもご利用者様がご自身の力を発揮できるように、情報や支援を共有できるように、保護者支援にも引き続き重点を置いています。保護者様やご利用者様にとって有意義な時間を過ごすことができるよう、楽しみにご来所いただけるように努力していく所存です。</p>
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	達成			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか(予定はあるか)。	達成			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか(予定はあるか)。	達成			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	達成			
	10	職員は子どもの支援について意義を感じ工夫し楽しむことができているか。(保護者評価項目15)	達成	達成		

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用し、アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。(保護者評価項目5)	達成	達成	<p>・こちらの要望を的確に理解していただき、支援計画を作成していただいていると思います。</p> <p>・子どもに合った課題を選んで頂き、しっかりできるまで取り組んで頂いています。</p> <p>・集中力のない日は課題を減らしたり、臨機応変に対応して頂いていると思います。</p> <p>・無理せず、今できるように将来を考えた生きるためのことをしてもらっていて良いです。</p>	<p>【適切な支援の提供について】</p> <p>支援内容につきましては、ご利用者様のご意見や保護者様のご意見を取り入れつつ、専門的見地から総合的に評価をして計画を立てるようにしております。個別なので担当職員ごとの支援内容や評価に偏りが出ないよう、毎日必ず職員間で情報交換をして検討しています。保護者様からの聞き取りや評価の際の協議等、まだ不十分な点もありましたので、今後児童発達支援管理責任者をはじめとして、より保護者様やご利用者様と話し合いをしながら、納得やご理解をいただきながら進めていく所存です。</p> <p>担当の変更につきましては事業所のやむを得ない事情によることでご利用者様にご負担をかける結果となる場合もあり、大変申し訳ありませんでした。安定した体制の中での経営に努めたいと存じます。状況によって発達支援として担当交代をする場合もありますので、その都度個別にご相談させていただきます。</p> <p>ご利用者様の年齢によっては、保護者様が期待していることと、ご利用者様が期待していることに乖離がある場合があります。ご利用者様のペースに合わせて理解や納得の上で進めていくことは大事なことで、場合によっては、保護者様に、より一層ご利用者様に歩み寄りいただく場合もあろうかと思われれます。ケースバイケースでご相談させていただきますので、よろしくお願いたします。ご家族への支援としまして、コロナ感染症予防等のため、なかなか対面での学習会や相談会の実施ができませんでした。状況的に対策が整備されてきましたので、より一層ご家族支援を推進するために、学習会や相談会等も企画して実施していく予定です。</p>
	12	個別支援計画書にはガイドライン総則の基本活動や「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示された内容から必要項目が適切に選択され、子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか。	達成			
	13	個別支援計画に沿った支援を行っているか。(保護者評価項目6)	達成	達成		
	14	支援内容を職員間で検討し、子どもの発達や課題の進捗状況、その時の状態等に応じて固定化しないよう工夫しているか。(保護者評価項目7)	達成	達成		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	達成			
	16	支援終了後には、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を職員間で共有しているか。	達成			
	17	日々の支援に対し関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	達成			
	18	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	達成			
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	達成		<p>・フィードバックの際、毎回丁寧に話を聞いてくださっていると思います。</p> <p>・子どもだけでなく、親の状況にも気にかけて頂いています。</p>	<p>【関係機関や保護者との連携について】</p> <p>保護者様との連携につきまして、保護者様から高評価をいただきました。職員からは、他機関連携の機会が少ないために、評価が難しいとの意見がありました。事業所としての連携は図っておりますが、一人一人の職員との共有や周知が不足していたことが一因として考えられますので、今後、他機関との連携につきまして職員全員で共有し意識的に連携を図ることができるようになっていきます。</p>
	20	移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所、学校、特別支援学校等の間で、支援内容の情報共有と相互理解を図っているか。	達成			
	21	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等をしているか。	機会が少ない			
	22	他の児童発達支援センター、児童発達支援事業所、発達障がい支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	ほぼ達成			
	23	(地域自立支援)協議会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	達成			
24	電話対応、見学対応、契約対応等で、保護者に丁寧な説明ができているか。(保護者評価項目8)	達成	達成			

関係機関や保護者との連携	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。(保護者評価項目9)	達成	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの前では話し難い時もあるので、できれば別に日に話す機会があれば良いかと思います。 ・いつも些細な悩みなどにもきちんと回答頂き前向きな気持ちになっています。 ・どんな相談事でも毎回しっかりと聞いてくださるのでとても有難いです。 ・個室でのフィードバックは安心できます。 	<p>上記にもありますが、ご家族への支援としまして、コロナ感染症予防等のため、なかなか対面での学習会や相談会の実施ができませんでした。状況的に対策が整備されてきましたので、より一層ご家族支援を推進するために、学習会や相談会等も企画して実施していく予定です。</p> <p>個人情報保護につきましては、書類等の管理に配慮するとともに、フィードバック時やご相談時には、個室で実施するかどうかを保護者様にご確認させていただいておりますが、一層配慮していく所存です。</p>
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)を行っているか。	ほぼ達成			
	27	個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画書の同意を得ているか。(保護者評価項目10)	達成	達成		
	28	保護者の苦情、相談や要望に対して適切な面談や助言等の支援を行っているか。(保護者評価項目11)	達成	達成		
	29	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。(保護者評価項目13)	達成	達成		
	30	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達ための配慮をしているか。(保護者評価項目12)	達成	達成		
非常時の対応	31	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。(保護者評価項目14)	達成	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態が起きたことがないのでわかりません。 	<p>【非常時の対応について】</p> <p>日頃よりご協力いただき御礼申し上げます。コロナ感染症対策等につきましては、国内の対応が時々刻々と変化してきましたので、それに応じて変更が多くなり、度々のご連絡になりました。今後も状況を鑑みながら対応の徹底を心がけてまいります。</p> <p>当所ではおやつ提供がないことや、個別での対応であることから、食物アレルギーについての指示を受けて対応する機会や、身体拘束をしなければならない機会に遭遇することがほばないための、評価ができていません。</p> <p>食物提供の機会や身体拘束の機会が想定される場合には、厳格に対応していきます。</p> <p>ヒヤリハット報告につきましては、小さなことでも共有して安心安全な環境づくりに努めるためにヒヤリハット報告が多いほど良い職場環境だと思っておりますので、今後より働きかけていきたいと思っております。</p>
	32	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	達成			
	33	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	達成			
	34	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	達成			
	35	食物アレルギーのある子どもについて、主治医の指示に基づく対応がされているか。	機会がない			
	36	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか。	機会がない			
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	達成	達成		